

平成 30 年度
第 2 学年

シラバス

(学習案内)



埼玉県立川越初雁高等学校

目 次

●シラバスについて	2
●教育課程表	3
●学習について	4
●各教科シラバス	5

各学科に共通する教科・科目

○国語	5
○地理歴史	7
○数学	8
○理科	9
○保健体育	11
○芸術	12
○外国語	14
○家庭	16

専門教育に関する各教科・科目

○国語／情報	17
--------	----

シラバスについて

1年生の学習が修了し、これから2年生の学習が始まります。

具体的な学習内容としては、1年生の学習を発展させる科目と、新たに学習する科目があります。そして、その中には各自が選択して学習する内容が付け加わります。このように2年生の学習では、科目数が1年生と比べて幅が広がります。

つまり、1年生の時以上に、計画的な学習が求められるわけです。よく2年生は、「中だるみ」の時期と言われます。高等学校生活に慣れた気の緩みと3年生の進路選択まではまだ1年あるから後でやろうと先送りする気持ちは、必ず後で自分を苦しめることになります。

2年生になった今、もう一度、初心に戻り、高等学校で学習することの目的・目標を確認し直してみましょう。再掲すると、次のようになります。

学校教育法には、目的について、「高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。」と定められています。

皆さんは、1年生の1年間の学習を通して、次の3つ高尚な理想に対し、どのくらい近づくことができたでしょうか。

- ①「豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。」
- ②「社会において果たさねばならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。」
- ③「個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。」

このシラバスには、1年間の学習内容や評価の概要が示されています。1年間の学習活動を通して、例えば、定期考査に臨む前ごと、新しい単元に入るごとに、各教科・科目の学習のポイントを確認し、理解を深めましょう。

このように「自分から主体的に学習すること」は、これから、皆さんが生涯にわたって持ち続けるべき姿勢です。なぜなら「生涯学習社会」と言われる今、また情報技術の進展する今、既存の知識はすぐに陳腐化してしまう可能性があるからです。私たちは生涯にわたり学び続ける必要があるのです。

皆さんが、このシラバスを大いに活用し、主体的に学ぶ姿勢を確立することを期待しています。

教育課程表

3ページの教育課程表は皆さんがこれから3年間に学習する内容を示しています。

2, 3年生での選択科目については、皆さん一人ひとりの進路希望に応じて選ぶことになりますので、将来どのような道に進みたいのかを考え始めてください。

平成29年度入学生 教育課程

単位数	1年		2年		3年		
	一般	総合進学	一般	総合進学	一般	総合進学(文系)	総合進学(理系)
1	国語総合	国語総合	現代文B	現代文B	現代文B	現代文B	現代文B
2							
3							
4							
5	地理A	地理A	古典A	古典A	日本史A	現代社会	現代社会
6							
7	数学I※	数学I※	世界史B	世界史B	現代社会	生物基礎 地学基礎	生物基礎 地学基礎
8							
9							
10	数学A	数学A※	数学II	数学II※	現代社会	体育	体育
11							
12	化学基礎	化学基礎	生物基礎	生物基礎 物理基礎	物理基礎 地学基礎	総合英語	総合英語
13							
14	体育	体育	体育	体育	体育	英語理解	英語理解
15							
16	保健	保健	保健	保健	保健	英語理解	英語理解
17							
18	音楽I 美術I 書道I	音楽I 美術I 書道I	音楽II 美術II 書道II	音楽II 美術II 書道II	総合英語	日本史B	数学III
19							
20	コミュニケーション 英語I	コミュニケーション 英語I	コミュニケーション 英語II	コミュニケーション 英語II	総合英語	日本史B	数学III
21							
22	英語表現 I※	英語表現 I※	英語表現I	コミュニケーション 英語II	英語理解	理科課題研究	数学B
23							
24	家庭総合	家庭総合	家庭総合	英語表現I	音楽III/美術III/書道III 課題研究 フードデザイン 子どもの発達と保育 ファッション造形基礎	音楽III/書道III 課題研究	物理 化学 生物
25							
26	社会と情報	社会と情報	国語一般(漢字検定) 英語会話(英語検定) 課題研究(パソコン検定)	家庭総合	古典B 数学B コミュニケーション英語 III スポーツII	古典B 数学B コミュニケーション英語 III	物理 化学 生物
27							
28	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
29							
30	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR

※1年「英語表現I」は、少人数授業を展開します。1年一般クラス「数学I」・1年総合進学クラス「数学I」「数学A」・2年総合進学クラス「数学II」は、1クラスを2つに分割し、習熟度別授業を行います。この教育課程表は現時点での予定であり、今後変更される可能性があります。(平成30年4月)

学習について

1. 高校では自分で勉強しなければならない

高等学校は義務教育ではありません。極端に言えば、行かなくてもよいところを、皆さんが川越初雁高等学校で学ぶことを選んで入学したのです。川越初雁高等学校での学習活動に積極的に参加し、実力をつけなければ卒業することはできません。中学校では勉強が、もしくは一部の科目が苦手だったという人がいるかもしれませんが、そのままでは進級することができません。気持ちを新たにして授業を一所懸命に聞き、分からないところは質問するという姿勢が必要です。たとえ短い時間でも家で机に向かって勉強するように努めて下さい。最初はきついかもしれませんが、我慢して取り組んでいるうちに苦手だった勉強や苦手だった科目も、それほど嫌でなくなり、得意科目になってしまうかもしれません。是非頑張ってください。教職員一同応援しています。

2. 単位の認定には日ごろの努力が必要である

高等学校では学習する科目ごとに単位の認定、不認定が判定されます。科目ごとに合格と不合格があるということです。基本的には授業にきちんと出て真面目に授業に参加し、試験で合格点を取り、課題や宿題などをしっかりやって期日までに提出するという学習活動が総合的に認められれば、その科目の単位が認定されます。試験で高い点数をとれさえすればよいということではありません。日頃から真剣に授業に参加し、その内容を自分のものにする必要があります。

3. 単位数が多いほど学習量が多い

各科目には単位数が設定されています。たとえば、1年生で学習する国語総合は4単位です。簡単に言うと4単位の科目は、1週間に4時間授業があるということです。単位ごとに出席すべき時間数が決められており、単位数が大きいほど、出席しなければならない時間数は多くなります。

原則として、欠席時間数が基準となる時間数の3分の1となってしまうと、その科目の単位は認められません。その結果進級・卒業ができなくなります。

4. 進級・卒業できない場合

10段階評価で1または2、5段階評定で1を欠点といいます。赤点と呼ばれることもあります。要するに不合格の状態が単位が認められない状況だということです。学年末に1科目でも欠点があると進級できませんし、3年生は卒業できません。欠点科目が2科目までは、追認定考査を受けることができます。3科目以上が欠点科目となった場合はその時点で進級・卒業ができなくなります。追認定考査の結果、合格となり、追加認定されれば進級・卒業できることとなりますが、1科目でも不合格となれば進級・卒業できません。

5. 高校で進級すること、卒業することは簡単ではない

義務教育の小学校・中学校と違って、高校では自分で努力しなければ進級も、卒業もできないことを自覚し、日頃から学習に励んでください。

教科 国語

科目	現代文B	クラス	一般	2	学年	3	単位
授業について	近代以降の様々な文章を読むことにより、思考力や想像力を伸ばす。授業に積極的に参加し、多様なものの見方、感じ方、考え方を知る。進んで読書することによって、表現を味わい、語彙力を高める。						
年間・学期 学習内容	学習計画			主な学習内容			
	年間	現代文 漢字 作文		随想・評論・詩歌・小説 漢検4級～3級相当 原稿用紙の書き方・表記や表現の基礎・作文			
評価の観点	①定期考査、課題テスト ②小テスト、提出物 ③授業に対する姿勢						
生徒諸君に 求めること	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に意欲的に取り組むこと。 ・辞書をひく習慣をつけ、積極的に語彙力を伸ばすこと。 ・予習、復習を心掛けること。 						

科目	現代文B	クラス	総進	2	学年	3	単位
授業について	近代以降の様々な文章を読むことにより、思考力や想像力を伸ばし、表現する力を養う。授業に積極的に参加し、多様なものの見方、感じ方、考え方を知る。進んで読書することによって、表現を味わい、語彙力を高め、鑑賞する力をつける。						
年間・学期 学習内容	学習計画			主な学習内容			
	年間	現代文 漢字 作文		随想・評論・詩歌・小説 漢検4級～3級相当 原稿用紙の書き方・表記や表現の基礎・作文			
評価の観点	①定期考査、課題テスト ②小テスト、提出物 ③授業に対する姿勢						
生徒諸君に 求めること	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に意欲的に取り組むこと。 ・辞書をひく習慣をつけ、積極的に語彙力を伸ばすこと。 ・予習、復習を心掛けること。 						

教科 国語

科目	古典A	クラス	一般	2	学年	2	単位
授業について	古文・・・古文を読み味わい、筆者のものの見方、考え方、美意識などに触れる。 古典の世界を楽しむ素地を養う。 漢文・・・漢文を読み味わい、日本文学への影響を知る。文章から読み取れる思想について考察する。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	年間	古文 漢文	古文入門・随筆・物語・和歌・軍記 漢文入門・漢詩・語録・史話				
評価の観点	①定期考査、課題テスト ②小テスト、提出物 ③授業に対する姿勢						
生徒諸君に 求めること	・学習活動に意欲的に取り組むこと。 ・予習、復習を心掛けること。 ・ノートをきちんと取り、書き方も工夫するなど、授業理解に努めること。						

科目	古典A	クラス	総進	2	学年	2	単位
授業について	古文・・・古文を読み味わい、筆者のものの見方、考え方、美意識などに触れる。 古典文法の基礎力を定着させ、古典の世界を楽しむ素地を養う。 漢文・・・漢文を読み味わい、日本文学への影響を知る。文章から読み取れる思想について考察を深める。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	年間	古文 漢文	古文入門・随筆・物語・和歌・軍記 漢文入門・漢詩・語録・史話				
評価の観点	①定期考査、課題テスト ②小テスト、提出物 ③授業に対する姿勢						
生徒諸君に 求めること	・学習活動に意欲的に取り組むこと。 ・予習、復習を心掛けること。 ・ノートをきちんと取り、書き方も工夫するなど、授業理解に努めること。						

教科 地理歴史

科目	世界史B	クラス	一般	2	学年	3	単位
授業について	<p>私たちが生活している環境は過去とのつながりの中で変化し、現在に至ったものである。国際化が進む社会において、我が国との歴史を関連付けながら人やモノ、そして地域のつながりを学習する。</p>						
年間・学期 学習内容		学習計画		主な学習内容			
	年間	①文明と地域世界の形成	②諸地域世界の交流と再編	③諸地域世界の結合と変容	④地球世界の形成	<p>①オリエント文明、ギリシア・ローマ世界、インド文明、中国文明、東アジア世界の形成</p> <p>②イスラーム世界の形成と拡大、ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界、西ヨーロッパ世界の成立、東アジア世界の展開</p> <p>③大航海時代、ルネサンス、宗教改革、産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命とナポレオン、アジア世界の動揺と変動</p> <p>④第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、アジアの民族運動、世界恐慌と自由主義への挑戦、第二次世界大戦</p>	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の得点 課題等の提出物 小テスト等 平常点(出席、授業態度、持ち物等) 						
生徒諸君に 求めること	<ul style="list-style-type: none"> 授業道具(教科書・地図帳・ノートなど)は毎授業必ず用意する。 授業に意欲的に取り組むこと。 暗記することに専念するだけでなく、その時代の背景をつかむことが大切である。 日頃より社会で起こっていることに関心を寄せ、現代社会の動向を知ること。 						

科目	世界史B	クラス	総進	2	学年	3	単位
授業について	<p>私たちが生活している環境は過去とのつながりの中で変化し、現在に至ったものである。国際化が進む社会において、我が国との歴史を関連付けながら人やモノ、そして地域のつながりを学習する。そのうえで、大学入試やその後の学習に対応できる応用的な思考力を取得することを目標とする。</p>						
年間・学期 学習内容		学習計画		主な学習内容			
	年間	①文明と地域世界の形成	②諸地域世界の交流と再編	③諸地域世界の結合と変容	④地球世界の形成	<p>①オリエント文明、ギリシア・ローマ世界、インド文明、中国文明、東アジア世界の形成</p> <p>②イスラーム世界の形成と拡大、ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界、西ヨーロッパ世界の成立、東アジア世界の展開</p> <p>③大航海時代、ルネサンス、宗教改革、産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命とナポレオン、アジア世界の動揺と変動</p> <p>④第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、アジアの民族運動、世界恐慌と自由主義への挑戦、第二次世界大戦</p>	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の得点 課題等の提出物 小テスト等 平常点(出席、授業態度、持ち物等) 						
生徒諸君に 求めること	<ul style="list-style-type: none"> 授業道具(教科書・地図帳・ノートなど)は毎授業必ず用意する。 授業に意欲的に取り組むこと。 暗記することに専念するだけでなく、その時代の背景をつかむことが大切である。 日頃より社会で起こっていることに関心を寄せ、現代社会の動向を知ること。 						

教科 数学

科目	数学Ⅱ	クラス	一般	2	学年	2	単位
授業について	1クラスで授業を行う。基礎基本の内容から、より発展的な内容まで幅広い内容を取り扱います。単位数が多いので、考查の範囲も広がります。普段から計画的な学習に取り組む必要があります。						
年間・学期学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	いろいろな式	3乗の展開、分数式、複素数と2次方程式、高次方程式、等式の証明				
	2学期	図形と方程式	直線の方程式・平行・垂直、円の方程式、軌跡と領域				
3学期	三角関数	一般角、弧度法、グラフ、加法定理、方程式や不等式					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○集中して授業に取り組むこと。 ○ただ授業を受けるのではなく、自ら「考え」問題を解答する事。答えを導くだけでなく、どれだけ自分で考えたかが大切です。 ○授業の復習を行うこと。毎回の授業を終えたら、与えられた課題を解き、その日のうちに学習したところを確認すること。 ○授業で学ぶ内容が多いので、次回の授業の予習をすることを心がけて授業を受けること。 						
生徒諸君に求めること	<p>前提として、授業にきちんと参加すること。欠席はしない。 教科書の例題等を解答できるように努力する。例題→教科書の問題→練習問題と進めていきます。 問題集は授業内容を理解できた後に取り組みましょう。粘り強く、授業内容を理解する努力を惜しまずに続けましょう。</p>						

科目	数学Ⅱ	クラス	総進	2	学年	4	単位
授業について	2クラスに分け、習熟度別少人数クラスで授業を行います。基礎基本の内容から、発展的な内容まで取り扱います。単位数が多いので、考查の範囲も広がります。普段から計画的な学習に取り組む必要があります。						
年間・学期学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	いろいろな式 図形と方程式	3乗の展開、分数式、複素数と2次方程式、高次方程式、等式の証明 直線の方程式・平行・垂直、円の方程式、軌跡と領域				
	2学期	三角関数 指数・対数	一般角、弧度法、グラフ、加法定理、方程式や不等式 ゼロ乗、負の数乗、有理数の指数、指数関数グラフ、logの使い方、対数関数グラフ、方程式や不等式				
3学期	微分 積分	微分係数、導関数の定義、微分する、接線の方程式、増減表、3次関数のグラフ 不定積分、定積分、面積を求める					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○出席状況 ○授業での取り組み ○課題などの提出物 ○定期考査や課題テストの点数 						
生徒諸君に求めること	<ul style="list-style-type: none"> ○授業はメリハリをつけて集中して受けること。 ○頭をフル回転させて「考える」こと。 <p>数学は「考える」ことの訓練です。問題を解いて正答を導くことも大切ですが、「考える」ことがかなり大切です。 ○しっかりと復習をすること。問題集を使い、学習した日にその日の範囲の演習を終わらせること。</p>						

教科 理科

科目	生物基礎	クラス	一般	2	学年	3	単位
授業について	プリントを主体にしながら、問題集も利用して学習を進めていく。 実験、観察等も必要に応じて行っていく。						
年間・学期 学習内容	学習計画			主な学習内容			
	1学期	細胞 生殖と発生		生物のからだの基本である細胞のはたらきを理解する。 生殖のしくみと発生のおよびを理解する。			
	2学期	生殖と発生 遺伝		生殖のしくみと発生のおよびを理解する。 遺伝の法則と染色体のしくみを理解する。			
	3学期	遺伝 環境と動物の反応		遺伝の法則と染色体のしくみを理解する。 受容器等のはたらきと動物の行動を理解する。			
評価の観点	出席状況、授業での取り組み、課題などの提出物、定期考査や課題テストの点数、実験に取り組む態度						
生徒諸君に 求めること	集中して授業に取り組むこと。 授業の復習を必ず行うこと。 与えられた課題にしっかり取り組むこと。 実験においては、安全第一に、積極的に取り組むこと。 やむを得ず休んだ場合には、自分でその授業の内容を補うこと。						

教科 理科

科目	物理基礎	クラス	(選択)総進	2	学年	3	単位
授業について	教科書・プリントを使用しながら進めていく。 適宜、実験で確認しながら理解を深める。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	運動とエネルギー 熱とエネルギー	運動の法則の理解 「仕事」と「エネルギー」の関係の理解、用語の意味 「熱」と「仕事」の関係				
	2学期	波 電気	波と媒質の運動の関係 波の特性の理解・音の性質 静電気、電流・抵抗・電圧のイメージと関係				
	3学期	電気 エネルギーの利用	交流、電磁波 発電				
評価の観点	定期考査の成績、授業中のプリント、課題プリント、実験観察のレポート等の提出物 授業への取組み状況、出欠席の状況を総合して評価する。						
生徒諸君に 求めること	物理に関心を持ち、イメージを膨らませていくような積極性。 進んで考えを表明し他生徒と交流を深められる。						

科目	生物基礎	クラス	(選択)総進	2	学年	3	単位
授業について	プリントを主体にしながら、問題集も利用して学習を進めていく。 実験、観察等も必要に応じて行っていく。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	細胞 生殖と発生	生物のからだの基本である細胞のはたらきを理解する。 生殖のしくみと発生のようすを理解する。				
	2学期	生殖と発生 遺伝	生殖のしくみと発生のようすを理解する。 遺伝の法則と染色体のしくみを理解する。				
	3学期	遺伝 環境と動物の反応	遺伝の法則と染色体のしくみを理解する。 受容器等のはたらきと動物の行動を理解する。				
評価の観点	出席状況、授業での取組み、課題などの提出物、定期考査や課題テストの点数、実験に取り組む態度						
生徒諸君に 求めること	集中して授業に取り組むこと。 授業の復習を必ず行うこと。 与えられた課題にしっかり取り組むこと。 実験においては、安全第一に、積極的に取り組むこと。 やむを得ず休んだ場合には、自分でその授業の内容を補うこと。						

教科 保健体育

科目	体育	クラス	一般・総進	2	学年	3	単位
授業について	適切な集団行動や自主自律の精神を養う、各種の運動やスポーツに親しみ練習やゲームを楽しむ、総合的な体力の向上を図り安全に留意しながら運動に取り組む資質を養う、といったことを中心に授業を進めます。						
年間・学期学習内容	学習計画		主な学習内容				
	体づくり運動・集団行動 体育祭練習 器械運動 球技 持久走大会練習 球技		体づくり運動 体育祭の練習 機械運動・ダンス 球技① 持久走大会の練習 球技②				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・指示内容等の遵守状況 ・個人の記録や技能評価テストでの成績 ・技能、技術の向上の有無 						
生徒諸君に求めること	<ul style="list-style-type: none"> ・実技教科のため、出席状況が最重要視されます。欠席や見学がないことが大切です。 ・運動能力や技能の優劣だけでなく、明るく元気に意欲的に取り組む姿勢が高く評価されます。 ・集団行動や授業規律、安全に留意して取り組む態度など、学校生活の基本となる事項については厳しく指導します。これらの事項については適切に習得することが求められます。 ・各種の運動やスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツを楽しむ基礎づくりができるとういでしょう。 						

科目	保健	クラス	一般・総進	2	学年	1	単位
授業について	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく力や実践力を身につけること、自分の身体や心のしくみを学習することなどを中心に授業を進めます。 ・基本的には、教室での授業になります。教科書と保健ノート、教科担当が用意する補助教材(プリント等)を使用します。 						
年間・学期学習内容	学習計画		主な学習内容				
	II 生涯を通じる健康 III 社会生活と健康		<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 ・加齢と健康・高齢者のための社会的取り組み ・保健制度と保健サービスの活用・医療制度と医療費・医療サービスの活用 ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策・環境衛生活動のしくみと働き ・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち ・働くことと健康 ・労働災害、職業病と健康・健康的な職業生活 ※必要に応じ体育編の実施 				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業態度 ・考查点 ・保健ノート等の提出物の状況 						
生徒諸君に求めること	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位(週に1回)の授業なので、欠席しないことが重要です。 ・積極的に授業に参加し、保健ノートや授業時に学習するプリント等はきちんと整理しながら取り組みましょう。 ・基本的には、期末考查のみ実施となるので、相当の得点を得ることが求められます。 ・定期的に保健ノートやプリント等の点検を行いますので、日頃から手を抜くことなく取り組む必要があります。 						

教科 芸術

科目	音楽Ⅱ	クラス	一般・総進	2	学年	2	単位
授業について	週1回2時間連続で授業を行う。歌唱(発声練習、校歌、独唱、合唱)、器楽や鑑賞の学習を行う。						
年間・学期学習内容		学習計画		主な学習内容			
	1学期	校歌、合唱 独唱曲(ドイツリート)の試験 独唱曲(沖縄民謡)の試験 三線の習得		校歌の復習、合唱(様々な曲をたくさん) ドイツリートの歌唱と暗記 沖縄民謡の歌唱と暗記 三線の基礎的奏法の習得			
	2学期	校歌、合唱 沖縄の楽曲の試験 三線の試験		校歌の復習、合唱(様々な曲をたくさん) 沖縄の楽曲の歌唱と暗記 三線のアンサンブル、難度の高い旋律の演奏			
	3学期	合唱 独唱曲(日本歌曲)の試験		合唱(様々な曲をたくさん) 日本歌曲の歌唱と暗記			
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への意欲、態度 <ul style="list-style-type: none"> ①普段から「ステージマナー」を守れるか(私語、遅刻・欠席、忘れ物・提出物、服装、楽器や楽譜などを大事に扱うか) ②学習に必要なコミュニケーションが取れるか、自分からやろうとする積極性があるか ●歌唱、器楽試験の成績 <ul style="list-style-type: none"> 発声の技術、「大きな声を出そう」という意欲や積極性、自分なりに音楽を解釈し音楽表現を行っているか、歌詞の暗記や理解度、演奏の技術の習得、コード等必要な知識の理解度 等を総合的に評価 						
生徒諸君に求めること	<ul style="list-style-type: none"> ●上記の評価の目標について、以下のように取り組むこと。 <ul style="list-style-type: none"> 「授業への意欲、態度」の内容を徹底して守ること。 <ul style="list-style-type: none"> →特に、欠席はしない。休んでしまったら自分から教員に言い、授業内容を確認すること。 「歌唱、器楽試験の成績」の内容を達成するように努力すること。 <ul style="list-style-type: none"> →「大きな声を出そう」とする積極性も評価対象である。「大きな声」という結果を評価する訳ではない。 						

科目	美術Ⅱ	クラス	一般・総進	2	学年	2	単位
授業について	美術Ⅰを履修していること。週1回2時間連続で授業を行う。色や形で作品を制作し、なにを使って(素材・道具の理解)、どんなものを作るか(発想力)、どのように作るか(観察力・構想力)、どのように表現するか(描写・造形力)努力して完成させたか(完成度)等、考え方を学び美術の総合力を養う。各学期に随時小課題を行う。						
年間・学期学習内容		学習計画		主な学習内容			
	1学期	雑誌制作 【絵画・デザイン】		自分が深く興味関心を持っていることについてA3観開き画面にまとめ、ビジュアル的に表現します。魅力を伝えるために、集めた情報をどのように扱い表現するか考えます。			
	2学期	粘土による立体作品制作 【彫刻】		観察を主とした立体作品を制作します。2年次では樹脂粘土を使用して、より複雑な形態が制作可能な条件下で作品を考案していきます。			
	3学期	小物制作 【デザイン】		ピンバッジ制作を予定しています。3～4個セットでシリーズになるような図案を考え、ビジュアル的な良さを追求します。			
評価の観点	素材・道具の理解力 発想力 観察力 構想力 描写・造形力 完成する力・完成度 授業中の様子や態度 事前調査や準備の状態 より良いものを希求して努力する力 美しさを認める力 自分にとって新たなものを考え、挑む力 歴史や伝統から学ぶ力						
生徒諸君に求めること	美術の作品制作を通していろいろな物事を学ぶ授業です。そして、美術Ⅰを学んだうえの学習内容になります。幾つかの中からより良いものを選んだり、一度考えたものをさらに良くするにはどうすればよいかを学ぶことが大切になりますから、一生懸命制作してください。また、授業前の調査や参考資料の持ち込み、材料の用意など、毎時間の準備をしっかりと確認して忘れ物がないようにしてください。作品制作には十分に時間を確保してあるので、課題の提出日には与えられた期間分の内容のある作品を提出してください。						

教科 芸術

科目	書道Ⅱ	クラス	一般・総進	2	学年	2	単位
授業について	週1回2時間連続で授業を行う。芸術としての書についての理解を深め、書の文化を理解し、個性豊かな表現と鑑賞等を中心に展開し総合力を養う。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	漢字の学習 篆書・篆刻・隸書・草書	篆書(泰山刻石・石鼓文・篆書崔子玉座右銘四屏)・篆刻(姓名印) 隸書(乙瑛碑・居延漢簡・隸書崔子玉座右銘) 草書(十七帖・真草千字文・草書諸上座帖卷) の理論・臨書に取り組む。				
	2学期	仮名の学習 古筆	古筆(高野切第一種・本阿弥切本古今和歌集・高野切第二種) の理論・臨書に取り組む。				
	3学期	漢字仮名交じりの書の学習 古典・古筆の書風を生かして書く。	漢字と仮名交じりの書の臨書・創作に取り組む。 古典や古筆を参考に創作する。				
評価の観点	<p>普段の出席に加え、作品の試行、努力が評価に繋がります。</p> <p>手本を見て、特徴を理解し、表現出来ているかに応じて評価します。</p> <p>古典・古筆の字形・起筆・終筆・転折・払いなどが、きちんと書けたか。</p> <p>文字の配置は適切だったか。</p> <p>古典・古筆の筆遣いに則って書けたか。</p>						
生徒諸君に 求めること	<p>書を愛好する心情を身につけるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深めることが目的です。</p> <p>実技科目なので、欠席が多いとその分だけ、成績に影響しますので休まず集中して取り組みましょう。</p> <p>練習、消書ともに作品制作には諦めずに取り組み、作品を提出してください。</p>						

教科 外国語

科目	コミュニケーション英語Ⅱ	クラス	一般・総進	2	学年	3	単位
授業について	教科書と教科書の内容にそったハンドアウトを使います。ハンドアウトには新出単語や連語の外、教科書本文にそって内容を確認する質問、TF問題、重要表現の並べ替え問題が入っています。言語を理解する授業なので「聞く」、「声に出す」の音の部分を学習します。						
年間・学期学習内容		学習計画		主な学習内容			
	年間	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、教科書にそったハンドアウトを利用して教科書本文の内容を理解する。 英語で本文をつかえずに読めるようになる。 本文を英文を見なくても聞き取れるようにする。 本文の内容に関するリスニング問題を聞いて理解できるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンの各セッションごとに新出単語の意味と用法を確認する。 和文訳例も参考に英語の表現と日本語の表現の差を理解するとともにレッスン文の伝えたいところを理解する。 レッスン文の伝えたいところの理解が正しくできているかQ&AやTF問題等で確認をする。 レッスンの中で使われた英語の表現を定着させるために、その表現を利用した整序問題、和文英訳問題を解く。 レッスン後の教科書総合問題を解き表現の理解を深める。 			
評価の観点	定期考査、提出物、音読への参加具合、小テスト、授業中の挙手 等(重要度の高い順に表記)						
生徒諸君に求めること	まず授業にきちんと参加すること。欠席、遅刻はしない。 教科書の英文が読める、聞いて音で単語がわかり意味がとれるようにする。一文一文も大切だが、ひとつの段落、ひとつのレッスンで何を伝えたいのか、またその伝えたいもののためにどのような表現が用いられているのか。逆に言えば、この表現、あの表現は何を伝えたいために用いられたのかを考える姿勢をもってください。						

科目	英語表現Ⅰ	クラス	一般・総進	2	学年	2	単位
授業について	1年次のように、少人数制では行わずクラス全体で言語活動を行います。様々な情報や、自分の考えを英語で表現できるようになることを目指します。						
年間・学期学習内容		学習計画		主な学習内容			
	年間	1年生までの学習内容の復習 ～Lesson122		不定詞 動名詞 分詞の形容詞的用法 比較(原級・比較級・最上級) 関係代名詞(主格・目的格・所有格)			
評価の観点	ア 英語で情報を伝える能力は向上しているか。 イ 単語・文法の知識は定着しているか。 ウ 課題の提出・授業への取組み。						
生徒諸君に求めること	自分の考えを表現できるようになることが目標なので、普段の授業へ積極的に参加することが重要です。また、出された課題等は期日を守って確実に取り組むことを求めます。						

教科 外国語

科目	英語会話	クラス	(選択)一般	2	学年	2	単位
授業について	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を理解し、状況に応じて適切に応答する。 ある事柄について質問をしたり、質問に答えたりする。 海外での生活に必要な表現力を身につける。 						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	年間	Lesson 1 ~ 13 英検3級の問題演習	会話表現を通して、主に次のような学習内容を学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> 時制(現在形・過去形・現在進行形・未来表現) 現在完了 助動詞 There is/are ~. 不定詞(名詞用法・形容詞用法) 動名詞 文型 How long ~? 英検3級の記述問題・リスニング問題の演習				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出、授業への取り組み。 英語でコミュニケーションする能力は向上したか。 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとしたか。 英検に積極的に取り組むことができたか。 						
生徒諸君に 求めること	これまで学習してきたことが、実際の会話に即した場面で使用できるようになることを目指していきます。発話を中心とした英語によるコミュニケーション活動に、積極的かつ真剣に取り組むことを求めます。英検については、各自が強い合格への意欲を持ってしっかりと取り組むことを求めます。						

科目	家庭総合	クラス	一般・総進	2	学年	2	単位
授業について	食生活の科学と文化、住生活の科学と文化などに関する知識と技術を総合的に自分自身の問題として学習します。各ホームルームや調理室等で講義や実習を行います。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	・住生活 ・住宅設計と計画 ・文化・環境と暮らし	・住まいの役割について ・人間に必要な住空間とは(ライフステージ、ライフスタイルについて) ・平面図を読み解き、住宅設計を考える ・日本の住宅事情、住宅政策について				
	2学期	・食生活 ・調理実習	・なぜ食べるのか? ・栄養素とその食品について ・現在の食生活の問題点について ・調理実習2～3回程度				
	3学期	・食生活 ・調理実習	・栄養素とその食品について ・調理実習1回程度				
評価の観点	<p>評価の観点</p> <p>1 出席状況、提出日等 2 毎時間の授業態度</p> <p>3 実験・実習等に対する態度 4 授業プリント</p> <p>5 課題・実験・実習・観察レポート 6 教師による観察</p> <p>7 筆記試験(定期考査・小テスト)・実技試験</p> <p>「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」です。自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を重視します。</p>						
生徒諸君に 求めること	<p>(授業)・教師や友人の発言を真剣に聞き、その内容を的確にまとめる。</p> <p>・プリントをまとめたり、実験・実習記録をまとめる。</p> <p>・実験・実習は方法や理論を理解し、積極的に活動し技術を修得する。</p> <p>(復習)・教科書やプリントを見直す。</p> <p>・家庭で実技を確認する。</p>						

教科 国語／情報

科目	国語一般	クラス	(選択)一般	2	学年	2	単位
授業について	漢字検定の合格を目標に置く。 漢字や言葉に対する理解を深め、漢字を適切に使いこなす能力を身につける。 「言葉」を通して考えることを学び、思考力を伸ばし言語感覚を磨く。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	年間	漢字 国語表現	漢検4級～準2級相当 表記や表現の基礎・原稿用紙の使い方・作文など				
評価の観点	①定期考査、課題テスト ②小テスト、提出物 ③授業に対する姿勢						
生徒諸君に 求めること	・学習活動に意欲的に取り組むこと。 ・辞書をひく習慣をつけ、積極的に語彙力を伸ばすこと。 ・予習、復習を心掛けること。 ・漢字検定に挑戦すること。						

科目	課題研究	クラス	(選択)一般	2	学年	2	単位
授業について	「伝える」をテーマとし、一年間授業を行い、以下のことを目標とする。 1 情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。 2 情報に関する科学的な見方や考え方を養う。 3 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。 4 社会の情報化の進展に主体的に対応する能力と態度を身に付ける。						
年間・学期 学習内容	学習計画		主な学習内容				
	1学期	パソコン検定3級	パソコン検定合格に向けた実習及び講義				
	2学期	パソコン検定3級	パソコン検定合格に向けた実習及び講義				
3学期	パソコン検定3級 プレゼンテーション実習 プログラミング実習		パソコン検定合格に向けた実習及び講義 PowerPointを活用し発表する。 プログラミングの基本を学ぶ。				
評価の観点	1 出席(実習教科のため) 2 課題 3 パソコン検定3級試験 4 授業態度 以上のことを総合的に判断し評価する。						
生徒諸君に 求めること	パソコン検定3級合格を目指し、積極的に取り組むことが第一です。また、教科「情報」は、コミュニケーションの授業であることを理解し取り組んでください。コンピュータの操作を覚えるはもちろん、相手にどのように情報が伝わるのかを考え授業に取り組んでください。						



